

議事概要（第2回 横浜市地域公共交通活性化協議会 / 令和6年11月8日非公開）

■主な議題

地域公共交通計画素案（案）について

■主な意見

【市民委員】宮本氏	・（公共ライドシェアの導入検討について）サポート事業で断念した地域に導入するイメージと思うが、積極的に導入を進めてほしい。
【座長】中村氏	・公共ライドシェアについては「検討」と表記はなっているが、前向きに検討してほしい。
【市社会福祉協議会】 田辺氏	・（福祉視点の記載について）高齢者、子育てにポイントが置かれているのは分かるが、障害者の状況・課題が少ない。障害者視点への配慮が分かる記載にしてほしい。
【座長】中村氏	・配慮して記載すべき。
【市民委員】小田部氏	・（新たな支援制度について）プッシュ型による地域の意向確認について、まずは自治会長と打ち合わせとのことだが、若い世代は自治会に入っていない背景がある。そういう方たちのニーズも把握できるよう、場の設定など声の聴き方は工夫してほしい。
【座長】中村氏	・区やケアプラ等様々な媒体を活用しコミュニケーションを図る記載をしてほしい。
【福祉関係者】清水氏	<ul style="list-style-type: none"> ・（地域公共交通の定義と福祉有償運送について）田辺委員が言うように福祉視点での記載が薄い。地域公共交通と福祉有償運送との線引きは分かるが、障害者、高齢者に手を差し伸べられるよう、検討してほしい。 ・（自家用車の活用について）ボランティア輸送について、市内には様々な協力者が小さな輸送をしており、市がバックアップできるようにしてほしい。
【事業者(夕ソー)】 大野氏	・（シェアサイクルの記載について）シェアサイクル事業目的の一つに「交通安全の推進」があり、シェアサイクル拡大はいいが、交通安全の課題や取組の記載が薄いので記載があるとよい。
【座長】中村氏	・（DXについて）様々なデータが存在している。特に、バスのデータが市営バスのものであれば良くない。交通事業者は、実態や今後の取組の効果を検証するためにも、ぜひデータを共有してほしい。